

# おい図書館

## No.187

発行  
代表  
青木 和子  
松本市牧の原 104-416  
TEL 047-311-0886

### 第21回

#### 千葉県内図書館関係

#### 市民団体連絡会(塩尻にて)



6月24日(金)、千葉県内図書館関係市民団体連絡会のイベントとして、長野県塩尻市市民交流センター「えんぱーく」(市立図書館を含む複合施設)を見学しました。参加希望者は現地集合。市川・市原・君津・佐倉から計23名が参加。松戸からの参加は9名でした。

松戸の新図書館のために

塩尻に学ぶ



西村祐広

「おい図書館」のお誘いを受

けて、塩尻市立図書館見学に参加し、多くの事を学びました。松戸市は、昨年5月、待ちに待った「図書館整備計画」を策定し、新しい図書館づくりを進めようとしています。

「おい図書館」は、これらの市立図書館像を明らかにするための一助として、先進的図書館に学ぶ活動に取り組んでいます。今年度は、4月に前塩尻図書館長 伊東直登さんを招いたの講演会、そして、今回の見学会を行いました。

伊東さんの講演を聴いて多くを教わった私は、一度現地を訪れたいと思っていました。

市民交流センター「えんぱー

く」と、その中にある塩尻市立図書館を丁寧案内して頂いて、ここには、松戸市の新図書館が取り組むべき二つの重大な課題があると、私は確信しました。

その一つは、図書館が自治体の地域コミュニティづくりの活動に組み込まれているということですが、吹き抜けをうまく使った明るいつえんぱーくの中には、図書館、子育て支援、青少年支援、市民活動支援、シニア活動支援、ビジネス支援等の事業が有機的に結びあっています。この新しい取り組みは、塩尻だけではないのでしようが、従来の図書館のイメージを大きく変えていると言えますね。松戸の場合、19の分館は、それぞれが地域コミュニティ活動の一翼を担うと位置付け直すべきでしょう。

その二つは、運営哲学を打ち立て、それに基づいて、日常業務が

進められるということ。塩尻の場合、運営哲学を「地域に役立つ」と定め、本の棚の配列に知恵を出しています。地域の作家・アーティストの棚、地場産業の棚等々、工夫を凝らしています。

松戸市は、この点で全く遅れています。司書は、分館には殆ど配置されていないと聞きますし、レアレンス・サービス（利用者の質問に応えるサービス）の能力も高いとは言えないのが現状です。今回の見学会からは、これらの課題に今こそ真正面から取り組むべきとの確信を得ました。



小林眞理

「塩尻市立図書館には3Dプリンターがあります。レー今年4月の「おい図書館」総会後の講演で、塩尻市立図書館前館長の伊東直登さんは、そうおっしゃった。その一言がITマニアの私をとらえ、」

度でいいから見てみたい！」と心密かに願っていたところ、なんと6月24日にそれは実現した。現地で見た塩尻図書館の3Dプリンターは「MUTO工業Value 3D Magic MF-2000」プリンター自体の大きさは、縦68cm×横75cm×高72cm。価格は45万円ほど。最大で30cmの立方体を作れる。作成の仕組みについて、若いイケメンの職員さんと壮年のおにいさんとちよつとジブメのおじ様たちが、合同で解説して下さい。樹脂でできた断面図を

順々に何枚も重ねて立体にしていくイメージ。二次元の設計図はCADといわれるもので描くが、三次元のCADもあるとのこと。残念ながら、時間の関係で実演は見られなかったが、次のサイトで動画を見ることが出来る。

<http://matome.never.jp/odai/>  
2137247466258658001/

でも、「この3Dプリンター、松戸の図書館にもどうですか？」と問われたら、首を傾げてしまう。出来上がり作品が最大で30cm程度の樹脂製の立体物となると、そういう物は、すでに安価な商品が巷に溢れているので、よほど独創的な物を作りたいと思っている人以外は、継続して利用することはないだろうと思うからだ。

しかも松戸にはすでに大きな3Dプリンターがあることに気がついた。「おい図書館」という名の3Dプリンターが。ここに一人一人が未来の松戸市立図書館の青写真を持って集まると、今回の塩尻市立図書館見学会のように願いが実現してしまうのだ。だから、きつといつの日か、素敵なお礼を松戸市立図書館が出来る。

ああ、でもそれは3Dプリンター様のおかげ！お礼を言わなくちゃ。今回も、とても楽しい見学会でした。



た。この見学会の実現にご尽力頂きました方々に、御礼申し上げます。

泉議会議員 安藤じゅん子

此の度は貴重な視察の機会を頂き、ありがとうございます。

当日ご案内下さったのは、司書歴11年目の竹澤さん。

塩尻市は、人口6.7万人。図書館

は、視察でお邪魔した本館と分館。開架書庫40万冊だという。

壁柱は鉄板、柵はスチールなので、マグネットの使用可能。フロ

アは目的に応じて多様な配置換えができるように、椅子も机も可動式タイプを採用している。

近隣には司書コースを持つ大学

や短期大学があり、「図書館学」に特に力を入れている。

雑誌のタイトル数40は、市民の

声を反映し、H.22年開館以来、継続している。雑誌保管については、

大学を手本にして収納を見直した

結果、不満の声の解消につながった。

コンセプトである「地域に役

立つ」の具現化として、プロス

ポーツ（サッカー）紹介コーナ

ーを設けている。切り口を、プ

ロスポーツのみならず、更に観

光などへも広げていくことを常

に意識しているとのこと。間口

が広がり、興味関心を集めてい

る。こうした仕掛けにより、図

書館で働く人が色々な業界と関

われるようにしていることで、

働く人のスキルや視野を広げ、

更に地域に役立つ図書館として

の機能強化につながることと認

識した。

開架書庫20万冊は、県立図書

館から離れている立地のため、

市立図書館としてはやゝ大きめ、

地域の新聞やワインは永年保存

としている。

3階フロアの壁にはナンバリ

ングがあり、一日一面50円で貸出しを行っている。市民やプロが、

写真や書道などの作品展示を気軽

に実現できるようにしている。

宝探し、遊び心…各階の壁柱に一

つだけ、塩尻市についての遊び心

を加えた。

図書館としては、飲食OKスパー

スの確保。ホールイベントでは、

企画スタッフにより、バイオリン

と朗読、塩尻特産のワインを楽し

む夕べ等が継続的に企画され、好

評を博し、文化となりつつある。

この他、アメリカの図書館では

当たり前に設置されている3Dプリ

ンターの導入で、更に企業・市民

学校とのコラボが促進している。

館内見学後、前館長伊東直登氏

（現在は松本大学教授）よりお話を伺った。

個人や企業へのビジネス支援、

企業コラボにおける民間活力の導

入によって、たくさんの人が来館

するようになった。その時々の特  
 一マに関連した書籍の貸出しが増  
 え、レファレンスが増えて、更に  
 地域書店への販売機会の増加につ  
 ながる。博物館や美術館との連携  
 は勿論のこと、映画館や寄席との  
 連携企画も！

「地域に役立つ」：地域経済に  
 も貢献することは、これからの図  
 書館のミッションであることなど  
 について、お話し頂いた。

最後に、伊東氏から、今後の県  
 立図書館の役割について伺った。

地域に役立つ市立図書館との住  
 み分けと連携を第一に考えていく  
 ことの重要性を強調された。県立

図書館がリードするの、市立図  
 書館をサポートするの、県立図

書館は役割を果たしつつも、市立

図書館へのサポートについても力  
 を発揮することを念頭において、

あり方を考えていきたいとのこと。  
 私としては、図書館のミッショ

ンを理解して達成できる人材の  
 育成に投資を行い、スタッフを  
 早期に育てることが、県立図書  
 館の役割を果たしつつも市立図  
 書館をサポートするという仕事  
 につながるのではないかと考え  
 ている。

木村真喜子

昨年12月の「おーい図書館」  
 有志の見学会には参加できず、  
 あまりに残念だったので、後日、  
 長野県の滞在先から出かけまし  
 た。見学会に来ましたと話すと、丁  
 寧に案内して下さって、恐縮でし  
 たが、心遣いを嬉しく思いました。

以前も「おーい図書館」公報  
 に詳しく載せて下さっている様  
 な「市民に役立つ」図書館から  
 の展開として、一つの体験を書  
 くことにしました。

書架の配列に、複眼的に情報  
 発信していることに感心しながら

ら案内されていると、ビデオ・コ  
 ーナーの所で、国内・海外のDVDの  
 陳列の側に塩尻市内の名画座「東  
 座」の上映スケジュールがさりげ  
 なくぶら下がっているのです。映  
 画好きの私は、すかさず手を伸ば  
 しました。

6月24日の千葉県内図書館関係  
 市民団体連絡会の呼びかけに、再  
 度「えんぱく」を見学する事に  
 し、見学会の始まるまでの午前中  
 に、この名画座「東座」でイギリ  
 ス映画「さざなみ」を見ました。  
 地方都市ならではの工夫が伝わっ  
 て来て、思わず実家のある秋田で  
 風前の灯で何とか続けている名画  
 座のオーナーに、参考になればと  
 電話をしてみました。秋田の  
 図書館では、理解のある館と「営  
 利に拘わるから」と断られる館  
 があるそうです。(営利ねえ！)  
 ちなみに、50万都市の松戸に  
 は一軒の映画館も無くなりました。

交通費と体力を消費する都心の映画館は遠くなるばかり。一つ、文化の消失です。

CDのコーナーには、長野県出身のアーティスト一覧がありました。有名無名に拘わらず、かなりの若者グループの名前らしき一覧が。

日本国憲法や安保法制、東日本大震災と原発事故から5年目の福島を特集したフリーペーパーを発行している後藤正文の「アジアカンファレンス」も載っていることでしょう。

図書館は、光の当たらないところに光を当てる仕事でもあるのですね。

つくづく「市民とは唯なのか」再認識しました。



### 社会教育会議 傍聴

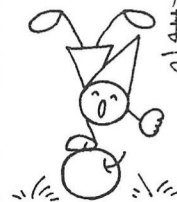
報告 青木和子

6月30日(木)18時から開催された生涯学習推進課からは活動報告とH.28年度活動方針が、さらにスポーツ課・市民会館・図書館などから現状と課題が示されました。

図書館からは、「専門職(司書)の割合が県内平均を大きく下回り、高度化する利用者のニーズや新図書館建設などの環境の変化に対応できる人材育成が急務である。身近な健康・医療・福祉・子育て等の個別具体的な情報提供のための資料の充実を図りたい。施設の老旧化・狭隘で十分に図書館機能を発揮できない。学校向け貸出しセットの充実や学校司書との情報交換を

ど、学校との連携を図りたい。などの報告がなされました。

明らかにされた現状と課題の解決に向けて、丁寧に尽かされますよう、期待しております。



### 松本市議会図書館 見学

報告 青木和子

又月25日(月)、市議会棟の図書室を見学しました。参加者は6名。議会事務局の図書室担当の方から丁寧にご案内をして頂きました。

20年以上前にも見学しましたが、当時は薄暗い本の倉庫のように感じました。しかし今回は、明るく、多くの行政資料なども手に取って目を通したいと思わせる配架がなれ、「図書室だより」や「議事調

査課ニュース」が発行されている事に、担当の方の熱意と努力を感じました。

議会図書室は、法律で義務づけられた議員のための情報センターで、市長部局から独立した議会事務局の議会事務局が担当しています。

松本市議会事務局は職員数20名、事務局長1名、庶務課8名、議事調査課1名で構成され、議会図書室は議事調査課に併設されています。

議事調査課は、市が執行する事務の監視や政策立案、立法機関としての市議会が市長に対しての政策提言を行う際の調査研究や、議員活動に資するための資料収集・提供、その為の調査を担っています。

設置場所：市議会棟/階

面積：約50㎡

所蔵資料：書籍約2300冊(地方自治)

雑誌(定期)又誌、官  
に關するものが多い

予算

…H.28年度一般会計予

算議会費において、

書籍購入費として30

万円計上。

開館時間：平日8:30~17:00(執務時間)

利用方法：時間内随時閲覧可能

議員・職員は、必要

事項を貸出簿に記入

の上、貸出す。

市民も閲覧可能(図書

閲覧票に記入)た

が、貸出は行っていない。

利用状況：随時閲覧自由なため、

閲覧者の記録は無い。

貸出は月平均約6冊

その他…書籍は、議員及び常

任委員からの要望、

地方自治や議会等に

関する新刊の情報な

どに基づき、選定購

入する。議会が付置

する図書室であるから、市長ではなく議長の管理下に置かれるものとなっている。

他市議会図書室及び公共図書館との支援・連携は無い。

「議会図書室は公共図書館と異なり、第一義的な目的からも市民の利用はあまり無い。図書に親しむ、読書を楽しむという点からは蔵書構成がかなり遠いものではあるが、市役所や議会にお出での際には、どうぞお立ち寄り下さい」とのことでした。

担当の方の熱意が感じられる、とても興味深い見学でした。

此の度、市議会図書室を見学したことで、「そもそも議会図書室とは？」を知りたくなりました。次号には掲載したいと思います。